

西部公民館だより

発行 西部公民館
神ノ郷町寺町田12-1
TEL:68-7233

7月実績と8月計画

日 程	事 業 名 称	実 績	備 考
7/3(水)	すこやか講座(3) 交通・防犯教室	済	
7/18(水)	すこやか講座(4) 伝統話芸 落語	済	
8/1(木)	児童講座 自然観察と体験学習		
8/24(土)	第2回公民館運営審議会		

本年2回目の城跡整備実施

6月22日(土)本年度2回目の城跡草刈り作業を城跡保存会関係者にて行いました。今回は4月20日以来の草刈りであり、この時期二か月何も手入れをしていない為、草丈が80cm程度まで伸びている状況でした。裏面に鶴殿の末裔の方が訪れたことを記載していますが、草ボウボウの城跡を見られてしまいました。



草刈り前の状態



草刈り後の状態

すこやか講座 交通防犯教室 (あゆみ)

7月3日(水)交通防犯教室を開催しました。今回は愛知県警交通安全教育チーム『あゆみ』の婦警さん二人が講師を担当してくれました。教育内容は『あ・じ・の・ひ・ら・き』を順に説明して日常生活での注意点をわかりやすく説明してくれました。

- ① あるく人
- ② じてんしゃに乗る人
- ③ ひだりからくる車
- ④ らいとが点く頃
- ⑤ きんじよで

今年に入って自転車に乗っていて事故に遭われて亡くなった方が10名見えたそうです。その中でヘルメット着用していた人はゼロだそうです。頭部に致命傷を負った方も多くヘルメット着用を習慣付けて自己防衛に努めましょう。

自転車運転中のスマホ利用 罰金5万円以下
傘さし運転も罰金5万円以下。自転車飲酒運転は100万以下の罰金です。



すこやか講座 伝統話芸 落語

7月18日(木)10:00~11:00公民館和室にて・すこやか講座 伝統話芸・落語を開催しました。駒久屋南朝さんに昨年11月に続き本年も公演頂きました。昨年は創作落語・玉の海物語を披露頂きましたが、本年は本職である医師の目線での『健康と笑い』をテーマにした医療落語を披露頂きました。様々な医師ならではの切り口のシチュエーションを巧みに語り、皆さんを楽しませてくれました。



ひじり会先没会員追悼法要会開催

7月12日(金)午後13:30より常善寺に於いて西部ひじり会(杉浦昭夫会長)による「先没会員追悼法要会」がとりおこなわれ、故人の遺徳を偲びました。昨年度は6名の方が先没されました。当日は蒸し暑い日でしたが、無事法要を終えることができました。毎年7月12日に行われますので会員の方のお参りお待ちしております。

熱中症に注意しましょう

梅雨も明け厳しい暑さが続きます。こまめな水分補給と休憩をとりましょう。



おかしいと思ったらためらわずに救急車を呼びましょう!!

敬老会の開催に関して

令和6年度の敬老会は昨年同様に公民館での式典は行いません。

本年も昨年同様に記念品の贈呈を行います。9月7日~15日の期間に各常会の区議員より対象家庭にお届けする予定ですので楽しみにお待ちください。

本年の対象者は昭和19年12月31日以前に誕生された方になります。神ノ郷町内の174名の方が対象になります。

第7回生涯学習成果発表会参加者募集

日頃の生涯学習活動の成果を発表していただける蒲郡市内の団体、個人を募集します。

	作品展示	舞台発表
日時	令和6年12月14日(土),15(日) 午前9時から午後5時まで 15日は午後4時30分まで	令和6年12月15日(日) 午前10時から正午まで
会場	市民会館大・中ホールロビー	市民会館中ホール
対象	・市内で生涯学習活動をしている個人・団体	
募集内容	工芸、書道、華道、洋裁、自費で出版した出版物など	舞踊、ダンス、コーラス、楽器演奏など

【応募締切】9月13日(金)まで

詳細は公民館等で配布している募集用紙または市のホームページをご覧ください。

【問い合わせ先】

蒲郡市教育委員会生涯学習課

TEL 66-1167

コチラのQRコードから
直接申込み可能です。



昨年の参加チーム

公民館学習開放に関して

利用できる方：市内在住、在学の小学生～大学生で
静かに勉強できる方。

(小学3年生以下は保護者同伴)

利用時間午前は9:00～12:00

午後は13:00～16:00

12:00～13:00は利用不可

使えない日は日曜、月曜

及び8/11～16日

7/19(金)

8/31(土)

夏休み中の自習室
開放について

くるりんバス利用状況

西部地区支線バス「みかんの丘くるりんバス」6月乗車人数報告

6月の乗車人数は合計159人でした。1便当たり平均乗車人数は1.3人です。

今年は7月20日(土)～11月30日(土)の期間で、「公共交通機関をつかったオリジナルツアー」と「公共交通利用促進ポスター＆川柳コンテスト」の募集があります。子どもたちが、この夏休みに乗車方法を覚えるきっかけとして、ご家族でみかんの丘くるりんバスに乗ってお出かけしませんか。

お出かけの際は熱中症対策を忘れず、体調に気を付けましょう。

鶴殿氏の研究のこぼれ話(12)

服部半蔵の槍について

(石井 文雄)

伊賀忍者の服部半蔵正成が、永禄五年の上郷城攻撃に参加した話があります。父も半蔵で正種や保長の諱が伝わります。父は足利將軍家(万松院義晴)にも仕えた経歴があり、いくつかの奉公を経て、岡崎の松平清康と広忠に仕えました。ぎりぎり譜代の臣です。

伊賀の服部氏は、源平時代の平家貞や貞能の子孫とする説もあります。古代豪族の服部氏は、伊賀市服部町の式内小宮神社を氏神としていました。服部氏には、漢服部と呉服部がありますが、小宮神社の祭神は呉服比売命です。千賀地城が、服部半蔵家の屋敷で、ここで生まれたと考えられます。おそらく、父が死んでから、三河に進出したようです。

桑名市立図書館に、「歴史の蔵」という電子情報の郷土資料群があります。桑名藩は、久松俊勝の四男定勝が藩主だったことがあり、蒲郡市とも由緒があります。桶狭間の戦いの前夜に、家康が密かに阿久比の坂部城の父母に会いに行った時、まだ襁褓の赤子に会い、松平姓を許した話があります。上郷城を任された久松俊勝は、ここで定勝を育てました。

服部半蔵正成は、鬼半蔵とも槍半蔵とも呼ばれる武士です。同時に、忍者の統率者でもあります。上郷城には、伊賀者六七十人を連れて、夜討ちしました。はじめて来た土地のようで、宇土之城と系図に書いています。城主を斬った手柄を喜んだ家康から、御盃・御着・打鉋を頂戴し、槍を拝領したとの記述が、服部家の系図にあります。

東京都新宿区若葉に、浄土宗の専称山西念寺があります。巨大な槍があつて、刃が折れていますが、残っている部分が三尺二寸八分もあります。この槍は、昔から有名ですが、永禄五年に家康から拝領した物ではありません。東京国立博物館に「濃州関伏兼久作、永禄五年五月吉日、服部半蔵正就」の槍があります。正就は正成の長子で、生まれてもいません。しかしながら、正成のことであれば、槍半蔵にふさわしいと思います。正就が伊賀者の部下に反発されて失脚した後、弟の正重が桑名藩に迎えられて、半蔵を名乗りました。

『どうする家康』終了後の公民館の近況

どうする家康のテレビ放映が終了して5か月経った令和6年6月10日頃この文を書いています。『6月5日岡崎地方史研究会の方々31名が来館されました。当日は蒲郡市内を三谷方面と塩津駅方面から二手に分かれ徒歩で調査され西部公民館にお寄り頂きました。二度にわたり事前調査にみえており、既に一度は公民館に来館され推定復元模型など御覧になった方々ばかりでしたが、公民館では関係資料をまとめて差し上げました。』

6月6日午後の遅い時間に一人の女性が来館されました。いつもの通り『上ノ郷城に来られたか?』と聞くと『どこからお見えですか?』と聞くと『鶴殿の者です』『西尾ですか吉良ですか?』『東京からです』『桜の木を植えるとき沢山寄付してくれた方ですよ』『祖父も母も来たがついていませんでした』『など会話が続きました。その後DVDを見て頂くと『鶴殿が上ノ郷と下ノ郷に分かれて戦った理由が解りました』『だから私がいまここにいるのですね』『その後正行院の鶴殿落城男女諸精霊之墓と鶴殿長照墓碑に参拝されました。彼女の名は 〇川真帆さん 川崎在住の方です。』

6月7日 午後に一人の男性が来られ上ノ郷城への道を訪ねて案内図を基に周辺案内をしました。神奈川から車で来られDVDをご覧になった後城跡に行かれた。』

今日でも上ノ郷城に遠くから訪れる方は少なからずおられます。これらの方々とのご縁を大切にしたいと考えています。

(小林)



岡崎歴史研究会の方々



鶴殿氏末裔の方